

1 調査日 令和6年1月30日（火）

2 調査の概要

(1) 京都大学防災研究所 宇治川オープンラボラトリー（京都府京都市）

京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーは、主として水と土に関する災害の防止、軽減を目的とした実験研究を行うため、昭和28年に設置され、所内外の研究機関、研究者、一般企業、学校などに対する共同利用施設、世界有数の規模を誇る総合実験施設として、広く開かれた研究、教育、学習が行われている。

去る1月1日に発生した令和6年能登半島地震のように、全国各地で国民の生命、身体および財産を脅かす大規模地震や集中豪雨等の自然災害が相次いで発生する中、今後の委員会活動の参考とするため、同所を訪問し、防災研究の内容と行政との連携について調査を行った。



(2) びわこボートレース場（大津市）

びわこボートレース場（以下、「同場」という。）は、モーターボート競走法に基づき、県が運営する施設で（施行者が県）、昭和27年7月、全国で2番目の公認コースとして開設された。

同場では、安定した経営を行い、一般会計繰出金を確保することにより、県財政に貢献するという公営競技の使命を果たし続けることを目的とし、令和2年3月に「びわこボートレース場中期経営計画2020」を策定し、その後の着実な施策の推進などにより、令和4年度は25億円の繰出金を確保するなど、安定した経営を実現することができた。

今後も、安定的かつ継続的な経営に向けた取組が求められることから、同場の施設の概要や運営状況等について調査を行った。

